

## まちづくりミーティング要旨

1. 団体等の名称 グリーンベンチ男組
2. 日 時 令和元年9月18日(水) 19時00分～20時30分
3. 場 所 市役所本庁舎 4階大会議室東
4. 出席者 <参加団体>12名 <市>市長、高齢福祉課長
5. テーマ ①住民主体の介護予防活動について、育成支援を一層推進してはどうか。  
(我々の取り組みを他地域にも紹介すると良いと思います。)  
②働きたい高齢者の就労のきっかけづくりのため、生涯現役促進協議会の周知を強化してはどうか。  
③産官学民の協働を一層推進し、高齢男性の居場所と出番づくりをしてはどうか。

### (テーマ①：住民主体の介護予防について、育成支援を一層推進してはどうか。(我々の取り組みを他地域にも紹介すると良いと思います。))

【参加者】今行っている介護予防活動の育成や支援を一層推進してもらおうとともに、私たちの取り組みを市全体へ水平展開してはどうかと思います。

【参加者】6年ほど前から介護家族の集いの場を提供しています。私が目指しているのは、介護をしている人が困って落ち込んでいるときにこの集いの場に来ていただいて、少しでも心が軽くなれば良いということです。この活動を毎月行っています。

【参加者】フレイル予防を勉強し、実践すれば良くなるという話を聞きましたし、自分自身でも効果を実感しました。年齢が上がるにつれて段々と身体が悪くなっていくことをあらかじめ調べ、把握することが大事だと思います。

### (テーマ②：働きたい高齢者の就労のきっかけづくりのため、生涯現役促進協議会の周知を強化してはどうか。)

【参加者】社会にもっと役立つことがあるのではないかと感じるので、ふれあいのきっかけづくりや強化をしていけたら良いと思います。

### (テーマ③：産官学民の協働を一層推進し、高齢男性の居場所と出番づくりをしてはどうか。)

【参加者】高齢男性の居場所と出番づくりを行政にバックアップしてもらい、いきいき輝く高齢者がたくさんいる地域になれば良いと思います。そうすることで他地域から各務原市に住みたいと思ってもらえると思います。

【参加者】健康体操をするようになって自分の体が変わったと実感しています。中部学院大学に協力し

ていただいて非常に助かっています。

【参加者】一人暮らしのため家で対話がないので、あちこちのグループに出向いておしゃべりをさせてもらっています。また健康福祉講座など、出前講座や講演を行ってもらい大変ためになっています。いろいろな方面からの良いお話をこれからもいっぱい行ってもらいたいと思います。

【参加者】私はたくさんのボランティアを行っていますが、もっと多くの方がボランティアに参加できないかなと思います。そこでボランティアに参加した人がどれほど貢献したか実感できるように、ポイントカードなどで可視化すると良いと思います。そうすることでもっと生きがいをもってボランティアに参加してもらえらると思います。

【参加者】これから高齢者が増えていくと様々な課題が生じると思います。そこで幅広い視点から見ると、2つ足りない点があると思います。

1つ目は食べることです。栄養が偏って病院にお世話にならないように、自分の力でどうにかするだけでなく、共助や公助のステップにつなげ、新しい関わり方を作っていく時代が来ていると思います。

2つ目は体作りです。自分のことは自分でということを含地域に広めるために、市の力を借りて啓発活動や仕掛けを行うことが大事だと思います。

また、情報交換の接点づくりを各地域で行うために産官学民協働の知恵を出す団体として取り組んだら良いのではないかとというのが私の思いの一つです。

【市長まとめの言葉】女性と比較して男性の方が現役を退かれてから家に引きこもってしまったり、ずっと現役で働いてきたため趣味がなく何をして良いかわからなかったりという方が多いと感じます。そういった中でグリーンベンチ男組さんの取り組みは模範になるものであろうと考えます。

働くという観点では、今年度各務原市は生涯現役という方針を打ち出し、今年7月1日に生涯現役促進協議会の事務所がオープンいたしました。県内で各務原市だけが厚生労働省の労働局から補助金を獲得して取り組んでおります。試行的な取り組みということで岐阜県や岐阜の労働局等の関係部署、商工会議所などの協力を得てスタートいたしました。

学ぶという観点では、地域参加というものをキーワードの一つとして打ち出しています。地域参加は皆さまがお持ちになるノウハウだと考えるので、これからも地域でご活躍いただきたいと思います。

健康という観点では、昨年度からフレイルチェックの話が出てきており、今年度から実行に移すところがあります。皆さまの活動を水平展開するために、行政は団体の魅力ある活動を発信していくことが必要だと思っております。

今地域のコミュニケーションが希薄になっているのではないかと心配されています。私は隣同士でしょうゆや塩の貸し借りをし合うような仲を作っていくことが重要だと考えています。自宅で一人だとなかなか話す機会がないということで、そういった地域の絆やコミュニケーションの場を作っていただいているのは皆さま方だと感じました。

現在市では「市民の皆さんに幸せを実感していただけるまち」という方針を持っており、「住んでいてよかったと思えるまち、これからも住み続けたいまち」を目指しています。グリーンベンチ男組さんの活動を参考にさせていただきながらがんばっていききたいと思います。